

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	養父市 (28222)
地域名 (地域内農業集落名)	三谷 (三谷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	13.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.9 ha
② 田の面積	13.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	4.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.3 ha
3	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>当地区は昭和59年から昭和61年にほ場整備事業に取り組み、一区画0.1~0.2haで約15.0haの整備が完了しているが、経年劣化により水路等の老朽化が進んでいる。</p> <p>各農家の営農規模は0.5ha未満の自給的農家及び定年退職後就農した高齢農家が占めていた。農業者の高齢化が進む中、平成27年に建屋地域で農業参入した企業が●●●●を設立し酒米を中心とした営農をスタートさせ、当地区の農地約1.9haを借受け営農している。</p> <p>当地区は令和2年度に、県が推進していた「いきいき農地バンク方式」に取り組み、約83%の農地を権利設定している。今後は、担い手である●●●●、地区農業者が効率的、総合的な農地利用を図るため、地区全体で農業を担う者を支えていく仕組みや、営農しやすい条件、環境整備、農地の集約化に向けて、地権者、農業者の理解と協力を図っていく必要がある。</p> <p>【地域の基礎的データ】                  人口:167人 世帯数 66世帯 高齢化率47.31%(65才以上)                  主な作物:水稲(食用米、飼料用米)、ピーマン 大豆</p>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食用米の水稲栽培を主とする。また、一部飼料用米の栽培に取り組む。</li> <li>・環境に配慮した減農薬・有機農業の取組を検討する。</li> <li>・担い手である●●●●、農業者が一体となって農地を利用していく体制を構築する。</li> <li>・担い手や農業者への農地の集約化に向けた条件整備を検討する。また、地区農業者の農業用機械の共同利用を検討する。</li> </ul>
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に取組んだ「人・農地プランの実質化」により規模拡大志向の農業者(中心経営体)が複数名明らかになった。担い手である●●●●と地区の農業者(中心経営体)へ農地を集積・集約化を推進していくため、農地バンク制度を利用し効率的な農地利用を図る体制を構築する。</li> <li>総合的な農地利用調整を図るため、農会、農業者を中心とした農地利用調整会を開催する。</li> <li>集約化に向けては地権者や農業者の理解を得ながら集約化に向け条件の調整を進める。</li> <li>農作業の効率化と労力や経費節減を図るため、農業用排水路の再整備やスマート農業機器の導入や農業機械の共同利用を検討する。</li> <li>農作物は水稻が中心だが、農業収益向上に向け、高収益作物への転換を検討する。</li> <li>環境に配慮した持続可能な農業の取組みとして、化学肥料の使用削減、減農薬、有機農業を進める。</li> </ul>			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	13.6	%	将来の目標とする集積率
			15 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●●●●と地区内の農業を担う者へ農地の集積を進めていく。集約化は地権者の貸付条件等の調整を図り、理解を得て農業者の意向を考慮しながら進める。</li> </ul>			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組	
<p>【いきいき農地バンク方式の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度から地域の農地全体を農地バンクに貸付ける「いきいき農地バンク方式」に取り組み、約83%の農地を担い手である●●●●及び地区の農業者に農地を集積している。引き続き、地権者の理解を得ながら「いきいき農地バンク方式」に取り組み、地域計画に挙げた担い手、農業を担う者に集積を進める。</li> <li>集約化については農地利用条件の調整と理解を得ながら徐々に推進する。</li> </ul> <p>【農地利用調整会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>離農農業者がスムーズに農業を担う者に農地を引き継ぎ、遊休農地発生防止を図るため、農会、中心経営体を中心とした農業関係者による「農地利用調整会」を毎年定期的に開催する。</li> </ul>	
(2) 農地中間管理機構の活用方法	
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き「いきいき農地バンク方式」に取り組み農地集積を進め、その後、農業を担う者の経営意向を踏まえて段階的に集約化する。その際は、農地利用調整会、農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し推進する。</li> </ul>	
(3) 基盤整備事業への取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域計画区域の農地は圃場整備済の範囲であるが、経年劣化により用排水路の漏水や農道の維持管理等に苦慮している。農道の舗装化、用排水路等の再整備等を計画的に実施する。</li> <li>農業用機械の大型化が進んでいるため、畦畔除去等による区画の再整備を検討する。</li> </ul>	
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>他地区からの経営体の誘致予定はないが、新たな就農者を迎い入れる環境整備に取り組む。</li> <li>担い手と地域内の農業を担う者、自給的兼業農家が協力し営農できるよう条件、環境整備に取り組む。</li> <li>兵庫県、JA等の営農指導制度を有効に利用する。</li> </ul>	
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自作を希望し農機具を更新しない者は、担い手である●●●●への作業委託を推進する。</li> </ul>	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

<p>【選択した上記の取組内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①鳥獣害対策用防止柵の点検、補修を定期的実施する。目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。</li> <li>②自然環境に配慮した有機農業、減農薬農法を推進し、養父市で進める「人にやさしい農業ビジョン」の取り組み農業者を育成する。自給農家にも自然環境に配慮した農業を推進する。</li> <li>③担い手を中心に農作業の省力化、効率化を図るスマート農業に取り組む。</li> <li>⑦保全隊が中心となり農地、環境保全に取り組む。</li> <li>⑧担い手の整備した農業用施設(乾燥施設等)の有効利用に協力する。 担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮し、出荷・調製施設など農業用施設の集約化を進める。</li> </ol>
---

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	●●●●	耕耘・田植え、稲刈り、乾燥	

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	農法		飼料米・酒米	1.850 ha	ha	飼料米	1.850 ha	ha	青	
2	利用者		水稲	1.581 ha	ha	水稲	1.928 ha	ha	水	
3	利用者		水稲	1.386 ha	ha	水稲	1.738 ha	ha	橙	
4	利用者		水稲	1.243 ha	ha	水稲	1.243 ha	ha	紫	
5	利用者		水稲	1.197 ha	ha	水稲	1.197 ha	ha	ピンク	
6	利用者		水稲	0.819 ha	ha	水稲	0.471 ha	ha	緑	
7	利用者		水稲・ピーマン	0.473 ha	ha	水稲・ピーマン	0.473 ha	ha	緑	
8	利用者		水稲	0.454 ha	ha	水稲	0.083 ha	ha	緑	
9	利用者		水稲	0.449 ha	ha	水稲	0.449 ha	ha	緑	
10	利用者		大豆	0.408 ha	ha	大豆	0.408 ha	ha	灰	
11	利用者		大豆	0.395 ha	ha	大豆	0.395 ha	ha	緑	
12	利用者		水稲	0.347 ha	ha	水稲	0.347 ha	ha	緑	
13	利用者		水稲	0.341 ha	ha	水稲	0.341 ha	ha	緑	
14	利用者		水稲	0.341 ha	ha	水稲	0.341 ha	ha	緑	
15	利用者		水稲	0.277 ha	ha	水稲	0.277 ha	ha	緑	
16	利用者		水稲	0.250 ha	ha	水稲	0.250 ha	ha	緑	
17	利用者		水稲	0.216 ha	ha	水稲	0.216 ha	ha	緑	
18	利用者		水稲	0.182 ha	ha	水稲	0.182 ha	ha	緑	
19	利用者		水稲	0.180 ha	ha	水稲	0.180 ha	ha	緑	
20	利用者		水稲	0.177 ha	ha	水稲	0.177 ha	ha	緑	
21	利用者		水稲	0.173 ha	ha	水稲	0.173 ha	ha	緑	
22	利用者		野菜	0.160 ha	ha	野菜	0.160 ha	ha	灰	
23	利用者		水稲	0.151 ha	ha	水稲	0.151 ha	ha	緑	
24	利用者		水稲	0.127 ha	ha	水稲	0.127 ha	ha	灰	
25	利用者		水稲	0.126 ha	ha	水稲	0.126 ha	ha	灰	
26	利用者		水稲・ピーマン	0.100 ha	ha	水稲・ピーマン	0.100 ha	ha	緑	
27	利用者		水稲	0.075 ha	ha	水稲	0.075 ha	ha	緑	
28	利用者		水稲	0.073 ha	ha	水稲	0.073 ha	ha	緑	
29	利用者		水稲	0.068 ha	ha	水稲	0.068 ha	ha	緑	
30	利用者		水稲	0.055 ha	ha	水稲	0.055 ha	ha	緑	
31	利用者		水稲	0.055 ha	ha	水稲	0.055 ha	ha	灰	
32	利用者		水稲	0.036 ha	ha	水稲	0.036 ha	ha	灰	
33	利用者		水稲	0.034 ha	ha	水稲	0.034 ha	ha	緑	
34	利用者		水稲	0.031 ha	ha	水稲	0.031 ha	ha	灰	
35	利用者		野菜・その他	0.018 ha	ha	野菜・その他	0.018 ha	ha	緑	
36	利用者		野菜・その他	0.010 ha	ha	野菜・その他	0.010 ha	ha	緑	
37	利用者		野菜・その他	0.008 ha	ha	野菜・その他	0.008 ha	ha	緑	
38	利用者		野菜・その他	0.004 ha	ha	野菜・その他	0.004 ha	ha	灰	
39	利用者		野菜・その他	0.001 ha	ha	野菜・その他	0.001 ha	ha	緑	
40	利用者		野菜・その他	0.067 ha	ha	野菜・その他	0.067 ha	ha	緑	
		40経営体		13.94 ha			13.919 ha			